

土砂災害危険箇所調査業務

土砂災害危険箇所とは

土砂災害には、土石流・地すべり・がけ崩れがあり、長雨や集中豪雨がきっかけで起こることが多い。

これらの土砂災害が発生するおそれのある箇所を土砂災害危険箇所という。



国は、8月の広島市における大規模な土砂災害により甚大な被害が発生したことを踏まえ、土砂災害危険箇所等について住民への緊急周知を行うよう要請

業務目的と業務内容

➤ 業務目的

住民の方へ土砂災害危険箇所を周知することで、土砂災害への備えや防災意識を持っていただくとともに、市として避難体制を確立するための情報整備を行う。

➤ 業務内容

特に急傾斜地が多い南区において、地形図と航空写真をもとに土砂災害危険箇所の抽出及び現地調査を行い、土砂災害危険箇所を決定する。